

第 7 回会議のご説明骨子

議事（1）大井川流域の水循環の概念図について【資料 3：大井川流域の水循環の概念図（素案）】

- ・これまでの有識者会議での議論を踏まえ、大井川流域の水循環の状況を利水者等にわかりやすく説明するための模式図を作成しました（縦断図と鳥瞰図）。

議事（2）トンネル工事による影響と水資源利用への影響回避・低減に向けた基本的な対応について

【資料 4：トンネル工事による影響と水資源利用への影響回避・低減に向けた基本的な対応（素案）】

- ・南アルプストンネル（静岡工区）の工事による影響、トンネル掘削による水資源利用への影響、静岡工区における基本的な対応についてご説明します。
- ・なお、影響回避・低減に向けた具体的な取り組みや水資源利用への影響の評価については資料 2 第 3 章以降に記載しています。
- ・また、トンネル工事によるリスクと対処については、次回以降に別途ご説明します。

議事（3）トンネル湧水の大井川への戻し方及び水質等の管理について

【資料 5：トンネル湧水の大井川への流し方及び水質等の管理（素案）】

- ・トンネル湧水の大井川への流し方について、工事完了後・工事中の具体的な流し方、流す設備の概要と妥当性、異常時の対応についてご説明します。
- ・また、トンネル湧水と発生土置き場における水質等の管理について、概要と設備計画等についてご説明します。

議事（4）モニタリングの計画と管理体制について

【資料 6：モニタリングの計画と管理体制（素案）】

- ・河川水と地下水のモニタリング計画、モニタリングの管理体制についてご説明します。

※第 6 回有識者会議の座長コメントにおいて、第 7 回会議で、工事期間中に山梨県側に一定量のトンネル湧水が流出することに関して定量的な評価等を議論すること、とされてきました。定量的な評価については、委員から、J R 東海モデルだけではなく、静岡市モデルにおいても解析すべきとの意見をいただいておりますので、静岡市モデルを用いて、新たに工事中のトンネル湧水量や河川流量などの解析を実施しておりますので、両モデルによる解析に基づく評価がまとまり次第、次回以降にご説明させていただきます。

以上